

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2011. 9.26

No.2010
No.10



出席率	会員49名中34名
先々週の出席率	95.56%
先週の メイクアップ	9/13 三條北RCへ 馬場眞樹君 広岡豊樹君 丸山徹夫君 松崎孝史君 9/16 地区新規事業意見交換会(長岡)へ 葦澤喜一郎君 9/17 地区ガバナーミー選考会議(新潟)へ 馬場信彦君 9/22 三條東RCへ 野島廣一郎君 佐々木常行君 田中悌司君 9/24 第4分区IM(見附)へ 15名

皆さん、こんにちは。

連休が続きましたが、いかがお過ごしでしたでしょうか。

7.18ワールドカップ優勝の『なでしこジャパン』、その後も来年のロンドンオリンピックに向けての快進撃、今をときめく『なでしこジャパン』ですが、その名の可憐な花「撫子の花」を岩田正巳企画展で観てまいりました。掛軸のこの「なでしこの花」を初めて観ました。半紙の上の花は本当に美しく、画伯の絵は線がことさら素晴らしいことを再認識致しました。新潟ロータリーの例会場であるイタリア軒2階ロビーの絵、弥彦神社宝物館正面玄関の大作、昨年4月閉場の歌舞伎座正面玄関脇の絵、どちらも本当に素晴らしいものばかりです。

これからも会長挨拶の中で、日本画、洋画、美術館等について、私の趣味ですので何回かお話ししたいと考えております。

会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長
鈴木 園彦

一昨日24日(土)、見附で開催されました「第4分区IM」にご出席の皆様、大変ご苦労様でした。昨年の「IM」は当クラブが担当し、ワシントンホテルで開催、葦澤AGや大湫会長の挨拶に始まり、11クラブの会長が熱き心でご自分のクラブについて話され、格調高く、とても充実した会合であったと記憶しています。今回のIMについての感想は、この後、馬場一敏さん、高橋祐介さんよりお話しいただきます。よろしくお願い致します。

9月9日、市内4RC会長、幹事、社会奉仕委員長で合同社会奉仕事業についての「反省会」を行ないました。南クラブはその事業の会計も担当しており、8月28日のチャリティイベントの収支決算報告を行いました。

なお、この事業への地区ロータリー財団補助金\$2,900(226,200円)の支給決定につきましては先般ご報告しておりますが、今回の赤字額

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー [インド]
第2560地区ガバナー 石本隆太郎 [新潟]
第4分区AG 山田文雄 [見附]
会長 鈴木園彦
幹事 熊倉高志
S A A 吉井正孝

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

86,756 円はこの補助金で精算し、残額を 4 クラブで分けることに決まりましたこと、また、当日来場された皆様より寄せられました義援金 182,122 円は、9 月 20 日午前 10 時、4 クラブ会長にて國定市長へ直接手渡し致しましたことも併せてご報告申し上げます。



最後に、5 年前、馬場一敏会長年度にドイツより一年交換学生として 2006 年 8 月 22 日に来日、翌年の 6 月 22 日まで三条東高校に通学しておりましたレナ・フェルトとタングさんより「東日本大震災」の義援金が送られてきました。505.71 ユーロ（当日は 1 ユーロ＝103.99 円）52,588 円。この送金に関しましては、いろいろあり、三条 RC メンバーの第四銀行高橋尚樹支店長に大変お世話になりました。また、ドイツ北部の街 ノルデンハムロータリークラブ（RI 第 1850 地区）がレナさんの留学の折のスポンサークラブでしたが、今回の義援金につきましても深く関わり協力下さっており、早々にお礼状を送りたいと思っております。

この義援金送金の連絡のやり取りの中で、レナさんが 10 月に来日、三条と加茂に 1 週間程滞在する予定の中、当クラブの例会出席を希望されましたが、プログラムの関係で無理な状況ですので、現在、当時お世話いただいた方々を中心に「歓迎会」を計画中です。なお、今回のレナさんとの連絡（メール）には、会員の丸山征夫さんに大変お手を煩わしており、お世話になっております。厚く御礼申し上げます。

以上、何点かご報告を申し上げ、会長挨拶を終わります。

幹事報告



熊倉 高志 幹事

○石本ガバナー事務所より 「第 1 回 米山奨学委員長セミナー」 開催のご案内

<日時> 2011 年 10 月 15 日（土） 12:00 ～ 15:30

<会場> ホテルオークラ新潟 3F 「クラウンルーム」

※田中悌司米山奨学委員長出席予定○

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 9 月 26 日 5,000 円
今年度累計 286,000 円～

鈴木（囧）君 8 月 28 日の社会奉仕事業イベントの決算が
出ました。また、当日寄せられた義援金は
市内 4 クラブ会長で 20 日、三条市長に手渡
しました。これでこの件については終了致
しました。

安達君 先日の IM、急な欠席で申し訳ありませんで
した。

田中君 BOXへ！

銅冶君 BOXに協力いたします。

熊倉君 IM報告の皆様、よろしくお願ひ致します。

Club Forum IM報告会



クラブフォーラム

9 月 24 日（土） 於：見附市 ホテルつるや ホストクラブ：見附 RC

【出席者】 馬場信彦君 葦澤喜一郎君 鈴木囧彦君 熊倉高志君 馬場一敏君 星野健司君 嘉瀬 修君
永桶俊一君 西巻克郎君 佐藤栄祐君 佐藤秀夫君 高橋祐介君 滝口恵介君 田中悌司君
吉井正孝君

プログラム

PM 2:00	登録受付	4:10	講評 ……中條パストガバナー
2:30	開会点鐘 ……山田 AG	4:30	次年度ホストクラブ(巻RC)紹介
	国歌、奉仕の理想 斉唱	4:40	閉会点鐘 ……山田 AG
	ロータリーの綱領 宣誓	5:00	懇親会
	歓迎の言葉 ……ホストクラブ会長		開会の言葉
	来賓・参加クラブ紹介と主催者挨拶		乾杯 ……馬場パストガバナー
	……山田 AG		アトラクション
	ガバナー挨拶 ……石本ガバナー		小栗山御神楽舞
3:00	「語り継ごうロータリーの『奉仕』の心」		手に手つないで 斉唱
	講演「震災復興から学んだこと		中々 ……葦澤直前 AG
	～奉仕は怒の心」	6:30	閉会
	講師 第 2560 地区ガバナーエレクト 鈴木重彦		



歓迎の言葉

山田文雄第4分区アシスタントガバナー

今年のRIのテーマは「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」、地区のテーマ「自らの足元を見直そう 過去～現在～そして未来へ」、IMテーマ「語り継ごう ロータリーの『奉仕』の心」でございます。

ご承知の通りIM（インターシティ・ミーティング）の目的は、自己を研ぎ・情報交換そして親睦にあります。今年度の基本方針の1つに会員増強と楽しいクラブ作りを掲げています。また、忘れてはならない東日本大震災の復旧、復興。三条地区の豪雨、台風12号といった息の長い支援が必要とされる中、2560地区第4分区IMにあたり、190名強のロータリアンの皆様方と1年に1回の情報交換と親睦を楽しく語り合えるIMになりますことを願っております。

見附RC 円田 務会長

今年のテーマは「語り継ごう ロータリーの『奉仕』の心」とし、平成16年の中大震災の際に地区災害対策本部現地総括本部長を務められました鈴木重吉ガバナーエレクトから「震災復興支援から学んだこと～奉仕は怒の心」と題した講演をしていただきます。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災、三条市に甚大な被害をもたらした集中豪雨など、さまざまな災害が各地で頻発する中、鈴木ガバナーエレクトの講演を通してロータリークラブの果たす役割を考えることは、地区のテーマ「自らの足元を見直そう過去～現在～そして未来へ」に通じるものと考えます。

IMは「研修と親睦の場」でございます。本日のIMが有意義な一日となりますようご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

記念講演

災害復興から学んだこと

奉仕は怒のこころ



どちらに支援の顔を向けるべきか・・・
そこで

- ★全国初の支援組織を立ち上げた
- ★「奉仕の実践」の具現をめざした
- ★現場に入り被災者の心を汲んだ活動に徹した

2) 望ましい体制

ロータリーの基本姿勢

- ① ロータリー独自の組織をもって支援する
- ② 被災地行政と連携をとりながら支援の手薄なところに手を差し伸べる
- ③ 組織力を最大限に生かした活動とする
- ④ 今後の地域防災システム構築の基となれ
- ⑤ 活動規範はロータリー四つのテストにあり

RI第2560地区

鈴木 重吉 ガバナーエレクト(長岡RC)

震災復興支援の検証

- ① 新潟地震の教訓が生かされていなかった
 - ・行政間の不連携
 - ・民間組織の不確かさ特筆すべきは自衛隊の初期対応の的確さ（指揮官の力量）
- ② 援助（仕組み）の認識が希薄だった
 - ・クラブ間の情報交換不足
 - ・対比組織がなかった
 - ・非常時のスキームゼロ（平和ボケのロータリー？）
- ③ 奉仕の中身が問われた
 - ・真の奉仕とは・・・
 - ・視野狭窄的支援だった（義援金は行政か赤十字・・・）

災害からの教訓

1) 日々の備えの充実

- ・超我の奉仕の理念を醸成しよう
- ・常在戦場の備えと知行合一の実践力と団結力（ロータリーの真価が問われる）

<備え、3つのポイント>

- Point 1 非常時に対応できる組織ができているか（防災組織体制）
- Point 2 稼働させる人的ホットラインがあるか（諸団体・行政・市民）
- Point 3 行動を起こす勇気があるか（物や金だけでは相手にされない）

震災支援が教えた事

- ① ロータリーの友情の有難さ 情けは人の為ならず
- ② ロータリーへの畏敬と感謝
地域での日頃の姿勢が大切
- ③ 最もよく奉仕する者、最も多く報われる
(He profits most who serves best)
超我の奉仕 (Service above Self)

ロータリーの資質

- 一業種一人・・・それぞれの業種のトップリーダーの集まり
- 時に行政も不可能なことを可能とする力を持つ
- 知恵・資金・強大なネットワーク・実行力を持つ

これらを再認識し

その期待に応えうる組織と個でありたい
それこそがロータリーライフの醍醐味

恕 とは・・・

- 子貢の質問に孔子が答えた一言
広辞苑・・・おもいやり、同情心
- 如（ごとき）＋心（こころ）・・・如来のごとき心
- tathagata（タタアガタ）の漢訳で“真理の世界から衆生救済の使命を負って人間界に降りて来た人”という意味
- 究極の「人類愛」・無前提の無条件の「救世愛」
ロータリアンが標榜する「超我的奉仕」に通ずる

恕を以って和を成す

- ☆国内外を問わず多難な時代
東北震災に始まり、政治の混乱、国家存亡の危機
- ☆ロータリアンの資質と能力が問われる時
- ☆2560地区の経験を今こそ生かし地域に貢献しましょう！！

奉仕は 恕 のこころ

- ☆儒教の教えがいつしか日本人の死生観をも左右する文化にまで醸成された
- ☆四方を海に囲まれ資源のない国に住む人間の知恵
 - ・狩猟・農耕民族の知恵（大同団結して目的を達成）
 - ・浄土教・・・俱会一処（あの世に行ってもまた会える）
 - ・道の概念・・・あらゆる所作に魂を入れる
- ☆豊かな自然と狭い国土で日本人が縄文の太古から育んできた共生の知恵
 - ・自然への畏敬・・・八百万の神々と共に生きる
- ☆今こそ恕の心を深め、より充実したロータリーライフを

IM 出席報告

馬場 一敏 会員



一昨日 24 日午後 2 時 30 分から、見附市の「ホテルつるや」で開催されました『第 4 分区 IM』に出席して参りました。参加者は約 200 名でした。テーマは「語り継ごうロータリーの奉仕の心」、趣旨説明は IM 実行委員長松本武司氏が行いました。

その後、ガバナーエレクトである長岡 RC 鈴木重吉氏による「震災復興の支援で学んだこと～奉仕は恕のこころ」と題しての講演がありました。その内容をご紹介します。

奉仕は「恕の心」、おもいやりである。中越地震、ロータリーとして奉仕とは何かで考えた。

- A 全国初のロータリーの支援組織
- B 奉仕の理想の具現

- C 現地の、被災者の心を汲んだ活動に徹した
寄附のみでよいのか？

ロータリーからではなく、行政の支援全行為としてのみ活用（後日）されている問題は、支援組織を継続して持続できるのかということである
ロータリーは単年度制であるので、継続すべき方法が確保されているかである
アメリカではロータリークラブがリーダーである消防組織があるそうである。

高橋 祐介 会員



9/24 の第 4 分区 IM に出席させていただきましたので出席した感想をお伝えいたします。

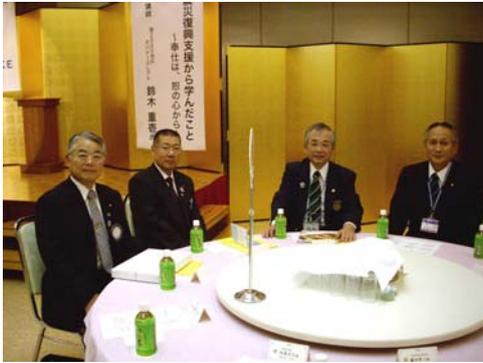
まず、初めに感じたのはホストクラブである見附クラブの皆さんのご挨拶や返事の声の大きさなど気合十分で今回のイベントを成功させようという想いを強く感じました。対応もしっかりされており参加者は皆さん満足されていたと思います。

そして、基調講演ではガバナーエレクトの鈴木重吉さんからお話をいただきましたが、中越地震の震災復興に際して、ロータリークラブの地域での活躍や貢献をするお話をお聞きし、ロータリークラブの組織の素晴らしさや使命を改めて認識した次第です。

今回、初めて外での行事に参加をさせていただきましたが、恥ずかしながら、実は IM とは何たるかということも当日まで知らずに、当日はじめて「インターシティミーティング」の略であることを知ったという非常にお恥ずかしい中での出席でした。IM に出席して、私にとって、ロータリークラブの様々なことを理解する良い機会となりました。とても良い勉強をさせていただきましたありがとうございました。

都市連合会 (IM) (Intercity Meeting)

近隣都市数クラブが集まって開かれるロータリーの会合。討論の主な内容は、4大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムを検討する。クラブ会員全員参加のこの会合の目的は、会員相互の親睦と知識を広めることであってさらに、会員にロータリー情報を伝え、奉仕の理想を勉強するために開催される。決議や決定はない。



各クラブ会長席



石本ガバナー挨拶



「乾杯」馬場バスターガバナー



見附市・小栗山のお神楽



懇親会の南クラブ会員席



懇親会の南クラブ会員席



閉会の「手に手つないで」

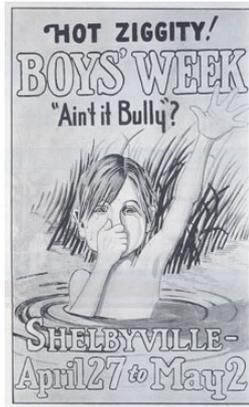


三条に帰着しての飯場着脱ぎ



国際ロータリーニュース: 2011年9月14日

歴史に残る1ページ： ロータリーと少年週間



9月は新世代のための月間です。青少年の健全な育成を促し、未来のリーダーを育てる活動を行うよい機会となります。

A 1924 poster advertising Boys' Week in Shelbyville, Tennessee, USA.



ロータリーにおける青少年のための活動は、1920年5月、ニューヨーク・ロータリー・クラブが地元団体と協力して行った「Boys' Week (少年週間)」を初の行事として始めました。教育、市民、衛生、職業の分野で青少年の育成を促すためのこのイベントは大成功。1920年ロータリー国際大会で成功が報告されると、数年前に結成された活動委員会とともに「Boys' Work」プログラムが始まりました。ロータリー・クラブはこのプログラムで、地元の青少年がよき市民となるよう、少年非行、不登校、不健康を防ぐ活動に取り組むようになりました。

少年週間の行事は、たちまち世界へ広がりました。1920年代中頃までには、25カ国、約600カ所で実施されるようになり、1928年には3,000地域で開催されています。また1924年にミシシッピ州で少年週間とともに開かれた [Loyalty Day](#) に、少年に加えて少女も参加し、プログラムの対象が広がっていきました。

1934年には少年週間が青少年週間 (Youth Week) となり、1936年には少年・少女週間 (Boys and Girls' Week) へと変わっていきました。

1956年、RI理事会は少年・少女週間への公式参加を中止すると決定しましたが、地元青少年のための奉仕をその後も続けるようクラブに奨励しました。

ロータリーは後に、[インターアクト](#)、[ローターアクト](#)、[ロータリー青少年交換](#)といった青少年や若者のためのプログラムを創設しています。

2010年、新世代奉仕がロータリーの第5奉仕部門となりました。指導力育成活動、地元や海外での奉仕プロジェクト、交換プログラムといった活動を通じて若い人々に素晴らしい経験の機会を提供し、世界平和と異文化理解が実現されるよう、ロータリアンは現在も活動を続けています。

次週例会 10月10日 **祝日「体育の日」** 休 会

次々週例会 10月17日 通常例会 『新世代のための月間』ライラ研修報告
於：ハミングプラザ VIP



表紙について

鈴木 武君 [1943(昭和18)年 8月15日生]

○8月15日・この日何の日？

- ・**刺身の日** 1448(文安5)年、刺身が初めて文書に登場
- ・東海道本線の横浜駅(2代目)が開業。それまでの横浜駅(初代)は桜木町駅に改称 (1915年)

○8月15日・この日誕生は？

- ナポレオン1世(ナポレオン・ボナパルト)
- (仏：皇帝(第1帝政)軍人)(1769年)

三條南ロータリークラブ週報

2011. 9.26

No.2010 No.10